

職場や学校 歯磨きで感染恐れ

口覆い、ゆっくりすすいで

集団で行う歯磨きから新型コロナウイルス感染拡大の恐れがあると、鹿児島県歯科医師会が注意を呼びかけている。職場の歯磨きがきっかけとみられるクラスター（感染者集団）が沖縄県で12月に発生したことを受けて「歯磨きの際は3密や飛沫を回避して」と訴える。

広報担当の要光理事
鹿児島市によりますと、
県内の歯周病菌はウイルスの感染力を強める。感

県歯科医師会が注意喚起



前歯の裏を磨く際は、飛沫を抑えるため口を手で覆う
＝鹿児島市武1丁目のかなめ歯科

染予防には歯や舌を磨き、洗口液で細菌を減らすことが有効。歯磨き中は口を閉じ、前歯の裏を磨く際は飛沫が飛びやすいため手で覆い、すすぎは低位置でゆっくり吐き出すといい。

沖縄のクラスターでは昼食後、複数人が職場の洗面所に集まり歯を磨いていた。職場の洗面所は狭く換気が悪いことも多い。要理事は「マスクを外して密集したからでは。時間をずらし私語はしないで」と言う。

「歯磨き同様、職場や学校ではうがいにも注意を」と語るのは鹿児島大学大学院の西順一郎教授（微生物学）。うがいは細かい飛沫が生じるため「洗面所の滞在は短く。外出先でうがいはできるだけしない」と話した。

（野村真子）